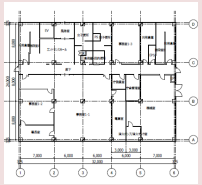
官庁営繕事業におけるEIRを適用したBIM活用

【資料6】

原則として全ての新営設計業務及び新営工事において、発注者情報要件であるEIR※1を適用し、 BIM※2活用を推進※3。

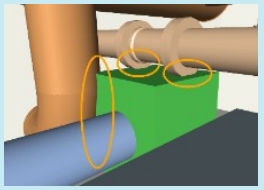
○延べ面積3,000㎡以上の新営設計業務において、 EIRで指定項目※4を設定し、BIMを活用。
全ての新営設計業務及び新営工事において、EIRで推奨項目※5を設定しBIMを活用。

○貸与可能な設計BIMデータについて工事受注者へ説明等を行うBIM伝達会議を開催し、工事受注者が活用する場合には貸与。



設計段階でBIMデータを作成

設計BIMデータの貸与



施工段階でBIMデータを作成

※1 Employer's Information Requirements
※2 Building Information Modelling
※3 令和5年度より取組開始
※4 受発注者間で協議を行った上で、BIM活用の実施内容を決定する項目
※5 BIM活用を推奨する項目で、受注者の判断で実施する項目

BIM活用の項目

設計業務

BIM活用の項目	延べ3,000㎡以上	延べ3,000㎡未満
建築物の外観及び内観（一部）の提示	**指定項目**	推奨項目
実施設計図書（一般図等）の作成		
設計条件等と設計図書の整合性の確認	推奨項目	
基本設計段階における設備計画の検討		
概算工事費の算出		
基本設計図書（一部）の作成		
実施設計図書（詳細図等）の作成		
上記以外のその他の項目	受注者の判断による活用可能（BEPに記載）	

工事

BIM活用の項目	全ての工事
施工計画等の検討	推奨項目
施工図の作成	
干渉チェック	
完成図の作成	
建築物利用説明書に用いる図の作成	
上記以外のその他の項目	受注者の判断による活用可能（BEPに記載）

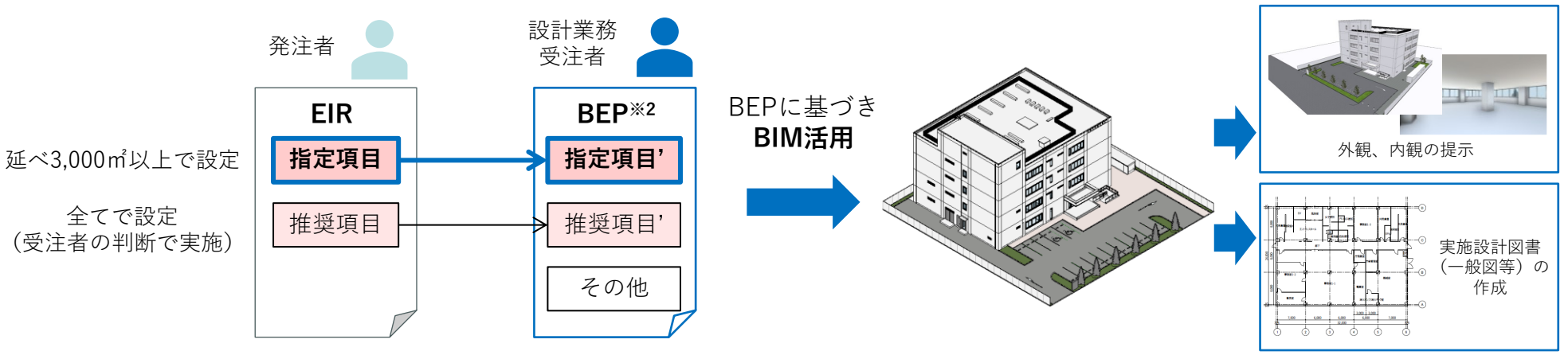
官庁営繕事業の設計業務におけるBIM活用（令和8年度から）

国土交通省

・**原則として、全ての新営設計業務**において、発注者情報要件である**EIRを適用し、BIM活用を推進。**
延べ3,000㎡以上の新営設計業務においては、EIRで**指定項目を設定。**
・**官庁営繕事業**において**令和8年春から**始まる**「BIM図面審査」**について取組を開始。

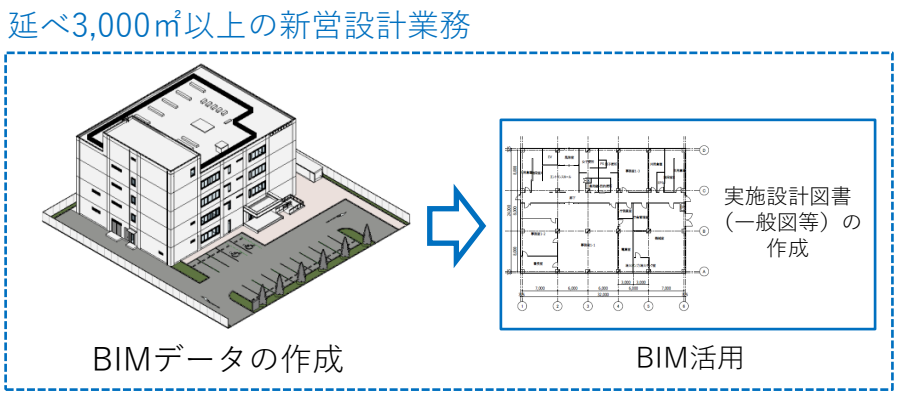
設計業務受注者は、**EIRに基づきBEP※1を作成。**作成した**BEPに基づいてBIMを活用。**

※1　BIM Execution Plan（BIM実行計画書）



※2　BEPには、受注者がBIM活用するものを記載
指定項目の実施内容等については、受発注者間で協議を実施し、その内容を反映。

延べ3,000㎡以上の新営設計業務は、原則として、**「BIM図面審査」の申請**の実施対象※3とする。



※3　BIM図面審査の申請の実施の有無並びに
実施する場合の申請先の選定及びBIM図面審査
の申請内容について、受発注者間で協議を行う。

【参考】官庁営繕事業の設計業務におけるBIM活用の目安に　～「営繕BIMモデル」の公開～

国土交通省

官庁営繕事業におけるBIM活用の理解の促進及び効率的な実施に資することを目的に、官庁営繕事業の設計業務において、発注者がEIR※1（発注者情報要件）で設定する指定項目への対応を基本として、BIMデータの入力情報及び設定内容の目安を示すため、「営繕BIMモデル」を作成し、そのデータを公開しています。

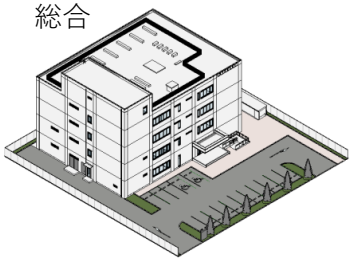
※1　EIR：Employer's Information Requirements

営繕BIMモデル　架空の建築物（鉄筋コンクリート造 地上5階建て 延べ面積約3,300㎡の一般的な合同庁舎）を対象に作成したBIMデータの例

（なお、設計内容は建築基準法等に基づく審査を受けたものではない。）

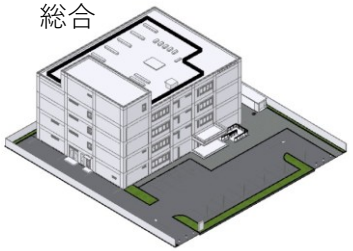
【使用ソフトウェア】

総合



Autodesk　Revit2022

総合



Graphisoft　Archicad27

【作成したBIMデータ】

総合、構造及び設備の分野ごとに作成

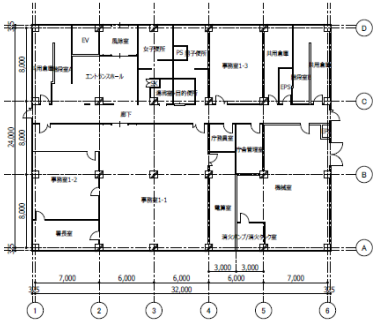
ソフトウェア	総合	構造	設備	データ公開
Revit	○	○	○	2024.10.23
Archicad	○	―	―	2025.9.19

「営繕BIMモデル」で実施した内容

延べ3,000㎡以上の新営設計業務においてEIRで設定する **指定項目** 及び 推奨項目※2のうち一部の項目※3 について実施。

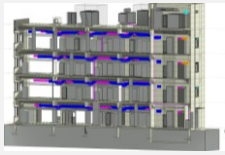
「営繕BIMモデル」で実施した指定項目の内容

実施設計図書（一般図等）の作成



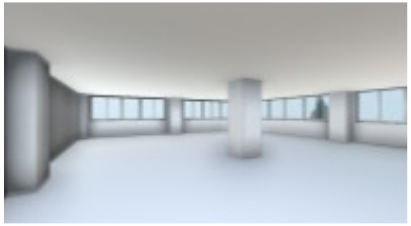
平面図（総合のBIMデータを用いて作成）

総合、構造及び設備の各分野のBIMモデルを用い、干渉チェックを実施したうえで、分野間の整合性等を確認した実施設計図書を作成



外観及び内観（の一部）の提示

３Ｄビュー（外観）



３Ｄビュー（内観）

※2　「「官庁営繕事業におけるBIM活用実施要領」に基づくEIRを適用したBIM活用の運用について」（令和8年3月31日国営施第29号）による。
（官庁営繕事業におけるEIRを適用したBIM活用」 参照）

※3　推奨項目は、受注者の判断により実施するもの。「営繕BIMモデル」では指定項目とともに実施例を示すことが有効であると考えられる一部項目について参考として実施。
「営繕BIMモデル」で実施した推奨項目：設計条件等と設計図書との整合性の確認、概算工事費の算出、基本設計図書（一部）の作成、実施設計図書（詳細図等）の作成